

セーブメディアデー

メディアとの賢い付き合い方 考えてみませんか？

便利なスマートフォンなどの情報通信機器は、危険とも表裏一体です。今や子どもたちが普通にインターネットを使う時代。大人がその危険性を理解し、安全な使い方を教えていくことが大切です。便利だからこそ、しっかり考えて上手に使いましょう。

インターネットは正しく使えば、とても役立つ便利な道具です。情報収集のほか、ゲームや家族・友人との連絡など、今では私たちの暮らしと切り離せないものになっています。しかし便利な反面、様々なトラブルも。いじめの温床になったり、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけになったり、常に危険と隣り合わせです。さらに、スマートフォン等の情報端末の長時間利用は、学力低下に直結するというデータもあります。不規則な生活リズムが引き起こす睡眠不足もその悪影響の一つでしょう。こうした状況を踏まえ、メディアとの賢い付き合い方を考えようと、最上地区小中高校長会は、7月7日をセーブメディアデーと位置付け。最上地域の全ての小中学

校、高等学校で情報通信機器の正しい利用を呼びかけています。町では昨年、「メールやLINEなどで、相手が傷つく言葉を送った書き込んだりしません」「午後9時から午前9時の間は、ネットやスマホ、ゲームをしません」という共通ルールを掲げ、各家庭でのさらなる取り組みを促しました。

これからの時代を生きる人々にとって、情報活用能力は不可欠です。避けて通ることはできません。インターネットのある生活が当たり前となつている今の子どもたちの一番の模範はやはり親。メディアを賢く安全に使うための方法を親子や家族で話し合い、「ルールを守って使える心」を育てることがとても大切です。

家庭内の取り組みについて聞きました

ルールよりも 親子や家族で 話し合うことが大切



阿部 ^{けんさく} 健作さん (荒屋)
^{ゆうと} 優翔くん

スポ少の練習がある日は、自然とゲームはしていません。基本的には外で遊ぶことが好きなようで、安心しています。また、宿題は下校のバス時間までに学校の図書室で終わらせているよう。自分から始めたことですが、時間を有効に使えていると感じます。

息子を見ていて感じるのは、メディアもコミュニケーションツールの大事な一つであるということ。心配される学力の低下や生活リズムの乱れなどは、まだ実感していません。これからも親子や家族で話し合う時間を大切に、年齢に合ったメディアとの付き合い方を考えていきたいと思います。

小学5年生の息子には、個人用のスマートフォンはまだ持たせていませんが、家族共用のタブレットや家庭用ゲーム機などで、メディアにふれる機会が多いと感じています。

子どもたちの間で流行っているのがオンラインゲーム。チャット形式で友達と話しながら遊べるため、どうしてもプレイ時間が長くなってしまふようです。

そこで、我が家で決めたルールは「ゲームは1日2時間まで」。時間になったら強制的に終了するのではなく、声をかけながら自主的にルールを守れるように心がけています。

ルールづくりのポイント

情報端末を持たせることは、与える責任をもつことが大切。単に禁止したり、子どもの言いなりになつたりせず、気持ちや考えを子どもに伝え、子どもの考えもよく聞いて、お互いが納得できるルールづくりをしましょう。

①使用目的を明確に

使用目的を確認して、利用範囲を話し合ひましょう。

②親子で相談してルール決め

利用ルールは、保護者の押しつけではなく、子どもに考えさせ、一緒に話し合つて決めましょう。

我が家の携帯電話のおきて (例)

- ①夜10時以降は携帯電話をさわりません。
- ②勉強・食事中は電話もメールもしません。
- ③携帯電話の保管場所は居間にします。
- ④家にいる時は、家の電話を使います。
- ⑤メールを送るのは1日3回までにします。
- ⑥インターネットはひとりでは見ません。

令和元年7月5日 金山太郎

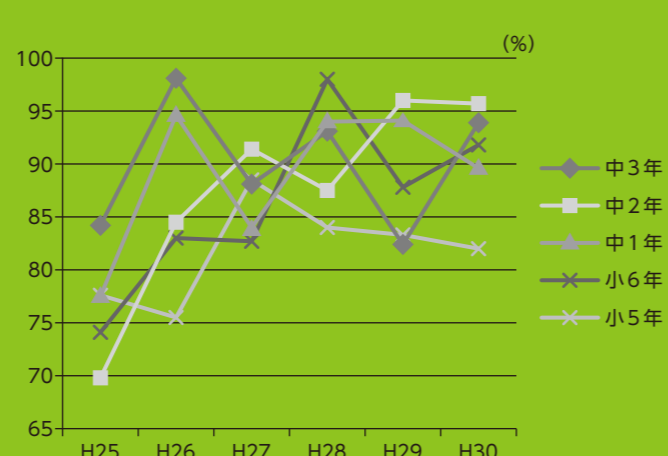
③ルールを定期的に見直す

家族で対話するきっかけにしましょう。親子のコミュニケーションを大切に！

情報通信機器の使用用途 (平成30年)

	小5	小6	中1	中2	中3
通話をする	20.0	32.7	56.3	84.8	69.4
メールをする	20.0	22.4	50.0	80.4	61.2
ゲームをする	72.0	83.7	87.5	87.0	81.6
写真や動画を撮る・見る	56.0	75.5	75.0	82.6	85.7
音楽を聴く	40.0	55.1	68.8	91.3	83.7
ブログ等を見る	2.0	18.4	25.0	60.9	40.8
ブログ等を書き込む	0	2.0	10.4	17.4	22.4
物品等を購入する	4.0	10.2	12.5	30.4	30.6
情報の検索	18.0	44.9	56.3	80.4	75.5
SNSを利用する	2.0	28.6	22.9	60.9	73.5

情報通信機器の所有状況 (平成30年10月)



【金山町教育委員会調べ】

近年大幅に増加している小中学生のスマホ等の保有率

近年、町内でも小中学生らの情報通信機器の所有率が上昇しています。インターネットにつながる情報端末の所有率は中学生では90%を超え、小学生でも全学年で増加傾向。携帯電話・スマートフォンに限った所有率を見ても、中学生では全学年で過半数を超えています(平成30年10月時点)。

小中学生ともに、ゲームをしたり、写真や動画を見るために、情報通信機器を使用している人が多いうようです。年齢が上がるにつれ、顕著に増加しているのが「通話やメール」「SNSの利用」。町内でも、インターネットでのコミュニケーションに関してトラブルが発生しています。

